

第2回近畿周産期精神保健研究会プログラム

～ 多職種協働で支援するpatient & family-centered care ～

会 期 2017年2月25日（土）14時～17時 ワールドカフェ（定員：60名）
2017年2月26日（日）9時～17時 研究会（定員：約300名）

会 場 新大阪丸ビル別館（JR新大阪東口徒歩5分）
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18番22号（TEL 06-6325-1302）
25日（土）ワールドカフェ 4階会議室 / 26日（日）研究会 10階会議室

会 長 船戸 正久（大阪発達総合療育センター 副センター長）

会 費 <<個人>> 5,000円（ワールドカフェのみの参加申込みはできません）
<<法人>> 30,000円 5名まで参加費（25,26日）無料
*抄録集は当日500円にて販売いたします。
*事前に申込登録（5,000円）をしていただくと、参加費と抄録代は無料です。

□ 会長講演 座長：窪田昭男（和歌山県立医科大学第2外科学長特命教授）
「多職種協働で支援するpatient & family-centered care」
船戸正久（大阪発達総合療育センター副センター長）

□ 特別講演 座長：鍋谷まこと（淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院院長）
「Perinatal multidisciplinary approach for palliative care」
（周産期における多職種協働による緩和ケアアプローチ）
Margarita Bidegain, MD, MHS-CL（米国Duke大学医学部、小児科准教授）

□ シンポジウム

I. 「多職種協働で胎児のいのちをどのように大切に支援するか」
Modulator：和田浩（大阪発達総合療育センター 医師）、猿田美雪（淀川キリスト教病院 NICU看護師）

シンポジスト

宮田郁（大阪医科大学リエゾン精神看護師）・高橋雄一郎（長良医療センター産科医師）、武井安津子（愛仁会高槻病院 新生児小児科医師）・佐藤裕美（愛仁会高槻病院 NICU看護師）・出崎 躍（淀川キリスト教病院 臨床心理士）・森喜宣・香奈（大阪医科大学家族）・柴田兼作（淀川キリスト教病院家族）

II. 「多職種協働で支援するNICUからの地域生活移行」

Modulator：望月成隆（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科医師）
近藤正子（大阪発達総合療育センター医療相談室MSW）

シンポジスト

祝原賢幸（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科医師）・西野千絵（同センター 母性外来看護師）
山口真帆（同センターNICU看護師）・川野由子（同センター心理士）・隅清彰（愛染橋病院小児科医師）
下釜聡子（石井記念愛染園訪問看護ステーション看護師）・
松岡雅一（訪問看護ステーションリハステージPT）・久保田恵巳（くぼたこどもクリニック医師）

□ ワールドカフェ（事例から学ぶ）

Facilitator

杉原康子（大阪発達総合療育センター臨床心理士）・川野由子（大阪府立母子保健総合医療センター臨床心理士）・吉田まち子（同センター看護師）・脇田菜摘（済生会吹田病院心理士）、出崎躍（淀川キリスト教病院臨床心理士）・小寺智子（高槻病院臨床心理士）

第2回近畿周産期精神保健研究会 ワールドカフェ

いのちの輝きを支える多職種カンファレンス とことん話し合おう！

テーマ：子どもと家族に寄り添う支援とは？

(周産期の子どもと家族への支援に向けた体験型多職種カンファレンス)

【ワールドカフェへのお誘い】

定員：60名

周産期には、子どもの生きる力にしたがって、正解の無い課題に向き合っていかなければならない場面があります。そのような時、子どもの親や家族だけではなく、子どもとその家族に関わる全ての職種が共に悩み考える時間と場所が必要です。しかし、第1回近畿周産期精神保健研究会のシンポジウムでは、多職種でケースカンファレンスをする際の難しさについてのご意見がありました。みなさんの施設はいかがでしょう？

【ねらい】

本プログラムでは、想定事例を素材にした模擬多職種カンファレンスを企画しました。ワールドカフェの手法を用いて、妊娠期から出産、新生児期、在宅移行期に分けて多職種が自由に意見や想いを語り合い、ファミリーセンタードケアの視点からケースについてじっくりと検討する機会を持ちたいと思います。また、今回の多職種カンファレンスを体験することで、各施設での多職種連携をさらに充実させる機会となることも期待しています。

*対象者：周産期の親子に関わる職種の方々なら、
どなたでも参加できます。
(医師、助産師、看護師、保健師、ケースワーカー、
心理士、理学療法士、保育士、遺伝カウンセラー等)



- ・原則翌日の研究会にも参加できる方が対象です。
- ・ワールドカフェ（模擬カンファレンス）への参加は、研究会への参加申込みと同時に、事前申し込みが必要です。
- ・プログラムの特性上、職種ごとに定員を設けます。応募多数の場合は抽選となります。

<ワールドカフェとは>

カフェで話し合いをしているようにリラックスした雰囲気の中で、皆が対等な立場で、お互いの意見を尊重しながら、テーマに集中した対話を行います。一定時間が過ぎればメンバーの組み合わせを変え、新たなグループで話し合いを続けます。

(ワールド・カフェ・ネット <http://world-cafe.net/index.html> より)

【研究会、ワールドカフェ 参加申込み方法】

- ① 本研究会のホームページ (<http://kspmh.net/>) から入会申込書をダウンロードしてください。
- ② 指定口座にお振込みいただき入会申込書を記入の上、FAXまたはメールのいずれかの方法で事務局までお申込み下さい。
- ③ ご入金の確認がとれましたら、事務局から確認メールをお送りします。

【参加申込先・お問合せ先】

第2回近畿周産期精神保健研究会 事務局

大阪発達総合療育センター 総務課(医局) 寺裏庸加 宛

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5丁目11-21

FAX：06-6699-8134 (TEL：06-6699-8731) / e-mail teraura@osaka-drc.jp